特集 令和3年度 白神農畜 産物60億円販売達成を誓う

2月16日に「令和2年度農畜産物生産者大会」が開催され、農産物60億円販売必達を誓い合い、5項目の大会宣言も満場一致で採択されました。また、優良生産者表彰式を行い大高晃さん（41、代市荷八田）が最優秀賞秋田県本地域振興局長賞に輝きました。

佐藤組合長は「コロナ禍で厳しい販売状況ではあるが、生産者の位の安定した高品質出荷で市場関係者からの信頼を勝ち得ることができている。各生産者の意欲的な取り組みに感謝し、21年度でも白神農畜産物のPR活動をさらに強化して行きたい。地域農業の発展と後継者が安心して就農可能な農業者の所得の確保・向上に向けて全力で取り組む」などとあいさつしました。

２０２０年度の販売実績見込みは▽米穀類36億５３９８万円（計画対比97・７％）▽青果21億８２３６万円（計画対比95・５％）▽畜産物１億９３１４万円（計画対比96・５％）。いずれも計画を下回る見込だが、主力品目である「白神ねぎ」は今年度本格稼働した園芸サテライト団地も調に稼働し、新規就農者の増加加え栽培面積も増え、２月末時点で17億５４４０万円に上り過去最高販売額を更新し続けており、18億１７２万円の販売を見込んでおります。さらに来年度は20億円を目指す計画です。

大会宣言では①他産地に勝る品質な農畜産物の出荷と、天候に左右されない生産技術の確立による有利販売②園芸品目の導入による複合化をさらに推し進め、農業生産の拡大並びに農業者の所得増大③栽培基準の遵守と生産履歴の記帳による、消費者が求める安心・安全な産地づくり―など５項目の大会宣言されました。

優良生産者表彰式では優良生産者９個人・法人が表彰されました。最優秀賞秋田県山本地域振興局長賞に輝いた大高さんは厳格な施肥管理のもと、水稲栽培のほか、種圃にも取り組み「あきたこまち」の供給を行い、「白神ねぎ」の栽培では、10アールあたりの収量が、管内でもトップクラスで６年連続10億円販売達成に多大な貢献と地域の担い手農家の模範的活躍が評価されこの度の受賞となりました。

例年、生産者をはじめ行政機関や市場関係者など２００人程が参加する当組合の一大イベントのひとつですが、今回は市場関係者の席を見送り、各生産部会の三役など参集規模を縮小し、検温や手指消毒を徹底するなど新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底して行われました。

あきた白神農業協同組合長賞
佐藤　晴樹様

全農秋田県本部長賞
佐藤　一夫様

あきた白神農業協同組合長賞
藤田　清樹様

あきた白神農業協同組合長賞
松橋　悟様

功　労　賞
原田　政昭様
（前比内地鶏部会長）

あきた白神農業協同組合長賞
株式会社ベジレックス様

能代市長賞

水稲栽培に「白神ねぎ」と「白神山うど」を組み合わせた複合経営に取り組み、白神ねぎのサテライト型園芸メガ団地により規模を拡大した結果、出荷量・販売額も伸び「白神ねぎ６年連続10億円販売達成」に貢献。

肥培管理、栽培管理技術に優れ、地域のリーダー的存在としてご活躍されております。

農事組合法人鬼っこファーム様

秋田県山本地域振興局長賞

大高　晃様

市川　賢一様

藤里町長賞

藤里町管内でも農業従事者の高齢化と担い手不足が著しい地域内において、稲作専業農家として、早くから経営継承と規模拡大に取り組む。

近年では人・農地プラン検討委員など行政の要職を担い、次世代農業のけん引役として活躍されており今後とも、地域の担い手農家の模範として、より一層のご活躍をご期待いたします。